

社内報

2023年1月

No. **446**

新しい年を迎えて…………… 02
金沢・志賀事務所開所式… 06
ICRP2021⁺¹への参加…… 08
配属されて…………… 10
ともに歩もう…………… 11
人の動き…………… 12



浅草寺（宝蔵間）～浅草～

Photo by Seinosuke Nishihara

令和5年 新年を迎えて

皆さん、明けましておめでとうございます。

昨年も、一年に亘って新型コロナウイルスの影響を受けた年となりました。

しかしながら、経済優先のため緊急事態宣言は発令されず、まん延防止等重点措置も3月末以降発令されませんでした。仕事や生活のスタイルの変化は引き続き余儀なくされたものの、社員の皆さんは、お客様とのコンタクトに際して創意工夫しながら営業の質を落とさない活動を行ってくれました。また、社内においては、必ずしも自席に居なくても、居る時と同じように仕事ができるシステムが導入されましたし、今後も充実させていきます。是非とも、これらの機能が活用出来るようにしていきましょう。最近のシステムについていけないと思っているあなた“例えるとメールで送れるのに、印字してFAXで送信するようなことをまだやっているのです。”まだまだ仕事の効率化と生産性の向上を目指して改善すべきことが沢山あると思います。

早急に行って頂きたい事を社内報の2022年10月号に記載しましたが、その中で実現できているものがいくつあるのでしょうか？会社組織をより良くするために、会社の将来を見据えて、昔ながらの慣例にとらわれることなく、皆さん自身が気づき感じたことを実行出来るような、そんな組織風土にしたいと切に願っております。

今年は第10次中期経営計画の最終章に入ります。特に次世代の社員が中心となってこの千代田テクノルを盛り上げてくれることを期待しております。是非、皆さんは現状の自分に満足することなくもう一ランク、二ランク上の考えや行動が出来るように意欲を持って取り組んでください。

私はそんな前向きで頑張っている社員を応援したいと思います。

皆さんとご家族の皆様、協力会社の皆様、そしてお客様にとりまして今年がより良い年になることをお祈り申し上げます。

“Create the future!”

～わたしたちが未来を創る～



社長
井上 任

新しい年を迎えて

～テクノロジーグループのさらなる発展を！～

創立65年目の年を迎えて

代表取締役会長 細田敏和

皆さん明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた素晴らしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

今年は、二つの願いを立てました。

一つ目は、新型コロナウイルスの感染拡大の終息です。

会社の業務の仕方を大きく変えてしまった新型コロナウイルスは、昨年暮れから第8波として不気味な形でピークに向かって感染力を増しているようです。

2019年12月初めに中国武漢で新型コロナウイルスの感染が報じられた時は、野生の蝙蝠を食べる習慣がある為にウイルスを保有した蝙蝠から人へ感染することがあるとしても、感染した人から人への感染はないだろうとの見方がありました。したがって感染は武漢の中で留まるのでは…と思われていたところ、すごい勢いで世界中に広まってしまいました。人から人への感染は人流によって起こるので、発達した交通網によって、特に飛行機等で広い範囲に凄いスピードで広がってしまいました。また、人が持っている免疫能力、防御能力が何世代にもわたって低下してきてしまったこともこのパンデミックを引き起こした原因と言われております。今年こそは第8波を着実に抑え込んで収束させたいものです。今我々がしなければならないことは、うがい、手洗い等消毒と飛沫が飛び交う場所を避けることです。コロナ前のように人と人が触れ合い交歓出来るようになることを願っております。

二つ目は、会社に関係することです。今年6月には会社創立65年目の記念日がやってきます。社長とも相談して、若い社員の自由な発想で、永く語り継がれるような記念式・記念事業を企画してほしいと思っています。

この素晴らしい記念の年が、社員、社員のご家族、お客様、協力会社の皆様にとって健康で実り多い年になりますよう願って已みません。

令和5年 新年にあたって

株式会社テクノサポートシステム 代表取締役社長 畑 崎 成 昭

あけましておめでとうございます。

皆様には日頃より大変お世話になり誠に有難うございます。

皆様はこの年末年始をどの様に過ごされたでしょうか。この原稿を書いている12月初旬においてはまだまだコロナウイルス感染者が増加している状況です。テクノ社内でも感染者が多数発生しています。ただ政府は行動制限を行わず旅行支援、GoToEatキャンペーンを行い、入国制限も行っていません。

この様な状況ですのでイベント関係も感染対策を行って3年ぶりに再開され多く開催されています。テクノサポートシステムでも3年ぶりに依頼を頂いた仕事もありますので今期は先期、先々期と客先の活動状況が違っていると感じています。しかし全ての仕事が完全にコロナ禍前に戻る事は無いと思います。

コロナ禍以前から印刷関係は紙から電子データへと進み厳しい状況を迎えていましたが、コロナ禍で電子データ化が進みより一層厳しくなっています。また最近の原材料及びエネルギー源の急激な上昇により厳しい状況は続くと思います。

いかなる状況においても、テクノサポートシステムは行動指針である「プロフェッショナルの自覚を持ち、未来を創るチャレンジをしよう」を絶えず考え新たな可能性を追求し新たな提案が出来る様に日々の活動を行いたいと思います。

「お客様に感動して頂ける事」「新しい発想、新しい提案」を目標に業務の進化を進めてテクノサポートシステム第46期の目標数値を達成したいと思います。

本年も千代田テクノグループの一員として、千代田テクノ及び関係会社の発展に寄与できるよう、社員一同全力で取り組んでまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様、新型コロナウイルス感染含めご健康には十分ご留意ください。



テクノサポートシステム会議室にて



テクノサポートシステム株主総会
(本社ビル8階会議室) 2022.8.17

Create the future !
～わたしたちが未来を創る～

2023年 新春を迎えて

株式会社テクノル青森 代表取締役社長 尾崎英樹

新年明けましておめでとうございます。

皆様お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大に加え、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、遠く離れた日本各地の広い分野に影響を及ぼしました。今年もこの新型コロナウイルス感染拡大や商製品の供給制約を受けつつも乗り越えていきたいと考えております。

昨年は、3年ぶりにエネルギー政策促進フォーラム2022in下北が開催されました。

下北地域における原子力施設の操業や再稼働、工事再開などの課題解消に向けた道筋は未だ不透明となっている中、原子力関連施設が立地される、むつ市、大間町、東通村、六ヶ所村から多くの方々が出席されていました。

フォーラムは、地域における原子力産業の将来展開やその重要性について議論を深め、内外への情報発信と意識啓発に寄与することを目的に開催されました。

六ヶ所村の一企業である弊社にとっても今後のエネルギー政策の動向は大きく影響します。

日本原燃(株)再処理工場は、昨年2022年上期の竣工を目指しておりましたが達成できず、再度竣工時期を見直す事になり稼働の見通しは不明確な状況であります。

また、電源開発(株)大間原子力発電所も安全強化対策工事の終了を2029年後半に延期とし、運転開始時期を未定としました。

再処理工場の竣工と国策である核燃料サイクル事業の進展を大いに期待したいものです。

テクノル青森は、おかげさまで16年目を迎えました。

業績は半期を終えて、順調に推移しております。

今年はより一層、原子力分野で培った経験と知識を最大限に活用し、新しい分野へのチャレンジによって未来に向けた安定した基盤事業の構築をします。

また、六ヶ所村を中心に地域貢献していくことが当社に課せられたミッションでありますので、地域住民の方々の安全と安心に貢献できるサービスの提供に最優先で取り組んでまいります。

本年が、皆様方にとって、明るい良い年になりますよう心よりご祈念申し上げます。

2023年 年頭のご挨拶

株式会社 SRS テクノル 管理グループ 部長 雪井 忠 廣

新年明けましておめでとうございます。

昨年の韓国は、文政権から尹（ユン）政権へと大統領が交代するという大きな節目の年となりました。前政権で掲げていた「脱原子力」とは、打って変わり、「原発最強国建設」を謳い、前政権とは、真逆と言えるエネルギー政策を掲げました。新政権では、前政権下で建設が中断されていた新ハヌル原子力発電本部の3号機、4号機の建設再開、エネルギーミックスを再整備し、2030年までに原子力発電のエネルギーミックスに占める割合を30%まで引き上げることをエネルギー政策の一つに挙げています。このように前政権とは反対に原子力を推し進めていく政権下で、原子力産業に携わる環境が大きく良い方向に向かっていくことを願っております。また、尹錫悦大統領は、前政権下での史上最悪とまで言われた日韓関係の悪化を危惧し、日韓関係の改善のため、問題解決に取り組んでいくという姿勢であり、これからの関係改善に期待したいと思います。

当社事業面では、WNP中性子測定システムの韓国初導入において、昨年初めから、ようやく測定サービス機関で実運用が始まり、韓国でもガラス線量計とWNPの組み合わせで、個人被ばく線量測定サービスが開始しました。ガラスバッジ+WNPのユーザーは未だ少ないものの、中性子測定が必要なユーザーを確保できるようサポートしていきたいと思っております。また、市場調査をしっかりと行い、測定サービス機関のみに留まらず、インハウス測定を行っている電力会社等へのWNP導入に向け、尽力していきたいと思っております。

本年は、当社が第19期を迎える年となります。これまで少人数で業務をこなしてまいりましたが、今後も事業環境の変化に臨機応変に対応していきながら、社員一人一人が効率的に業務に取り組んでいけるよう努力して参ります。

本年も、皆様にとって、健やかで実りある一年となりますよう、お祈り申し上げます。



大韓放射線防護学会（秋季大会）

金沢・志賀事務所開所式

いつもお世話になっております。志賀事務所の中川です。この度、2022年10月24日をもって、金沢・志賀事務所はこれまでと同じ金沢市内の物件へと移転いたしました。



本事務所は現在、金沢事務所の大内所長、事務員の中辻さん、志賀事務所の中川の3名体制をとっており、千代田の中では珍しいアイソトープメディカル事業本部と原子力事業本部の複合事務所になっております。

移転のきっかけとしては、旧事務所があったオフィステナントの取り壊しに伴い、オーナーから立ち退きを要求されたことが始まりでした。しかしこれを機会に今まで以上に働きやすい環境づくりができればと思い立ち、3人で何度も話し合いをして20件を超える物件の内見をして決めたのが、この新事務所になります。

旧事務所と新事務所の間取りは概ね同じで、1階が会議室と倉庫スペース、2階がオフィスになっているのですが、様々な点で働きやすさが向上しました。

1. 1階に3m幅の電動シャッターが設置され、ハイエースを倉庫内に入れることで雨の日でも濡れずに積み降ろし作業をすることが出来るようになりました。
2. 会議室に大型モニターが導入されて、Webミーティングでの操作性が良くなりました。
3. 防犯カメラの設置によりセキュリティ面の強化がなされました。
4. インターチェンジに近くなり県外へのアクセスが向上しました。
5. 近くにスーパーや飲食店が増えたことで昼食の選択肢が多くなりました。



シャッター前



会議室

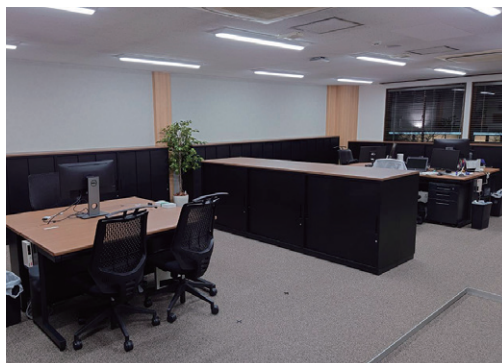


倉庫

新営業所の一番の目玉は、2階オフィスの什器の色を黒に統一したことです。旧事務所で使用していた什器がかなり老朽化していたこともあり、書類棚や机を一斉に入れ替えたのですが、従来のグレーを基調としたオフィスデザインから黒を基調としたシックなデザインになったことで、心地よく仕事することが出来るようになりました。

事務所の改装工事やレイアウトデザインについては、細田会長および井上社長をはじめとする皆さまの助言を賜りました。本当にありがとうございます。

11月1日に行われた開所式には、細田会長、井上社長、安川常務、赤座常務、小山取締役、尾崎取締役、山口部長、西江社員にお越しいただき、移転のお祝いをしていただきました。金沢・志賀事務所は、これからも感謝の気持ちを忘れずに、皆さまに愛され信頼される事務所を目指して邁進していく所存です。今後ともよろしくお願いたします。



新事務所



(志賀事務所 中川 亮太)

ICRP2021⁺¹への参加

2022年11月7日からカナダのバンクーバーで開催されたICRP2021⁺¹ (6th International Symposium on the System of Radiological Protection) に井上社長、杉浦特別顧問とともに参加してまいりました。



バンクーバー出張 !!

バンクーバーは北海道より北に位置しており、11月上旬の滞在期間中で最も寒かった日で「-3℃」でした。出国前日に極暖ヒートテックを購入していなかったら、東京との寒暖差で風邪をひいていたかもしれません。ヒートテックの爆買いで始まった今回のカナダ出張は到着した日にサマータイムが終わり、1時間のアディショナルタイムがあったため時差ボケもわずかでいいスタートとなりました。



シンポジウム会場・ホテルの目の前はヨットハーバー
最高のロケーションです。



夜景も抜群でした。

ICRP2023の開催に向けて

次回のシンポジウム 7th International Symposium on the System of Radiological Protectionが、量子科学技術研究開発機構 (QST) の主催で、東京のお台場で開催されることが決まっており、ICRPと放射線影響学会 (JRRS)、日本保健物理学会 (JHPS) で日を分けて合同シンポジウムが行われ、ICRP2023の開催に向けて、当社は各学会から協

力要請を受けています。このため、ICRP2021+1の現地視察を行い、当社がどのような協力を求められているのか確認するとともに、杉浦特別顧問と私が参画しているJHPSの臨時委員会の先生方と挨拶をしてみました。

ICRP2023は合同開催のシンポジウムとなるため、JRRS、JHPSの学会員の方は、放射線利用・防護などに関して日本から世界に向けて情報を発信するよい機会となりますので、皆様もご発表を検討されてはいかがでしょうか。

【ICRP2023開催日程】

日時：2023年11月6日(月)～9日(木)

場所：グランドニッコー東京台場



スポンサー企業
ICRP2023では当社が載る!?

Bo Lindell Medal受賞者

2年に1度開催されるICRPのシンポジウムにおいて放射線防護の推進に大きく貢献した若手から中堅の個人に授与されるBo Lindell Medalを原子力規制庁の荻野晴之氏が『アジア初』、『男性初』の受賞の快挙を成し遂げられました。次回のICRPでの受賞となっていたら、日本で開催されたから日本人に…。と忖度が働いたのかと感じる方がいたかもしれません、カナダの地で受賞したことは同じ日本人として喜ばしく感じました。

さいごに

今回のシンポジウムのクロージングミーティングにおいて、オリンピック誘致の時のような立派な日本のPR動画が放映され出席者全員が日本に来たくなったのは間違いなしです!! PR動画が一般公開されたらぜひ見てみてください。



(線量計測技術課 犬飼 裕司)

第65期 新入社員 配属されて



原子力技術課 岡本 健幹さん

原子力営業課の大坪漱さんから引き継ぎました。原子力技術課の岡本健幹と申します。

出身は福井県大飯郡高浜町、原子力発電所の立地地域です。大学では原子力について学んでいました。振り返ると原子力に縁のある人生だと思えます。趣味はゲームとバイクツーリングでして、11月初旬には茨城県鹿嶋市の辺りをツーリングしました。鹿島神宮では『さざれ石』を見学、実在する物だったのですね。

さて、私は原子力技術課への配属時に、同期の何名かが原子力技術課を志望していたこともあり、自分が期待に応えられるのか、人生で初めて胃がキリキリと痛み思いをしたのを覚えています。しかし、先輩方に温かく迎えられる、1・2ヵ月と経つごとにそういった思いは消え、今では適度に楽しみつ業務に従事しています。

現在の業務は、主に先輩方の業務補助をしながら、業務全般の進め方及び当社製品について学んでいます。ガンマポールの性能試験をお手伝いした際には、先輩社員の設定した試験条件に従って

動き、どのような要件があってその試験を行っているのかを実地で学びました。

また、初の担当案件として、放射性同位元素の許可変更申請書作成業務を担当しました。申請書の作成には、法令や遮蔽計算などの理解が必要ですが、私の理解が足りないところが多く、先輩社員及びコンサル課の方々に多くご助言をいただきました。そして、そのお陰でお客様へ申請書をお渡しすることができました。この場を借りてお礼申し上げます。

今後の抱負として、自らの意見をはっきりと発言する姿や計画通りに業務を進める姿を見せてくださる原子力技術課員の方々ようになるために、自らの意見に根拠を持つこと、計画を立て、遅れる恐れがあるときには迅速に対応することを主軸に、業務に励んで参ります。

稚拙な文章でしたがお読みくださりありがとうございました。次回は、今年度第二種放射線取扱主任者に合格し、来年には第一種放射線取扱主任者を取ると意気込んでいるメディカル営業支援課の上野彪亮さんに引き継ぎようと思えます。

購買部 小阪 真以さん

皆様 明けましておめでとうございます。

私たち同期のエンターテイナーである線源営業課 白石紀美香さんからバトンを引き継いだ、令和五年 新年社内報の誌面を飾らせて頂く、小阪真以（購買部所属）と申します。

私の出身は大阪府茨木市になり、土地柄は大阪市に比べると田舎ですが、緑が多く残されており、住環境の良いところです。娯楽施設が少なく、閑静な住宅地が広がっており、幼少時代からのびのびした環境で過ごしておりました。大学時代はスペイン語を専攻しており、留学を希望していましたが、新型コロナウイルスの影響を受けてしまい、断念せざるを得ない状況となりました。また機会があればスペイン旅行に行き、リベンジしたいと思います。

千代田テクノルに就職が決まり、配属先は当初、事業部と思っておりましたが購買部に決まり非常に驚きました。人生初めての東京・人生初めての一人暮らし・社会人1年目として何をすれば良いか

右も左も分からない状況で毎日緊張の連続でした。幸いにも購買部の方々はベテランの方々が多く、分からない時は優しく教えて頂き安心して仕事が出来る環境です。業務内容として川口倉庫にある常備品（在庫品）の出荷業務を担当しており、不慣れながら、一生懸命に全国の営業所及び各事業部の方々の問い合せに対応しております。また、私はパソコンの知識がなく諸先輩より『パソコンは、社会人になれば誰もが使うもので、パソコンでの生産性を上げれば、仕事の効率は間違いなく上がる』と言われWord、Excelのスキルアップの為、日々、特訓中でございます。

よく聞かれる名言で『昨日より今日、今日より明日、明日より明後日』日々変わり続ける事を意識して、立派な社会人になれる様に頑張りますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。

次号は、入社した当時と今とでは見違える程成長している名古屋営業所の清野浩大さんにバトンタッチ致します。ご期待下さい。

ともに歩もう



千代田あゆむ会事務局

令和5年新春を迎えて

千代田あゆむ会 会長 黒川 英明

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ここ数年はコロナ対応に追われ大変だったと推察していますが、今年は少し落ち着いた新春をお迎えになったのではないかと思います、心よりお慶びを申し上げます。

コロナは昨年末頃より、また感染拡大傾向にあり、第8波の感染状況に入ったとの報道もあり、今まで通り3密（密閉、密集、密接）を避けつつ、コロナの終息は厳しい状況ですので、今後はウィズ コロナで生活していかなければと思っているところです。

さて、私儀、今年80歳になりますが、ここ数年、1年が「とても早く過ぎる」と感じる日々を送っています。

19世紀のフランスの哲学者・作家ポール・ジャネは

**「生涯のある時期における時間の心理的長さは
年齢の逆数に比例する（これは年齢に逆比例する）」**

これは年齢が2倍になると、時間のスピードが2倍に感じられるということです。

例えば

10歳の子供の1年は人生の1/10（非常に長く感じられる）

20歳の成人の1年は人生の1/20（長く感じられる）

40歳の成人の1年は人生の1/40（短く感じられる）

80歳の大人の1年は人生の1/80（非常に短く感じられる）

同じ1年で時間が同じでも、年齢により感じ方が違うのが実感として、納得のいく「ジャネの法則」通りの1年でした。

残りの貴重な時間、1年1年を健康で楽しく過ごしていきたいなと思っているところです。

千代田あゆむ会は、ここ3年、行事等何も行う事が出来ませんでした、ウィズコロナで何かできる事を模索していきたいと思っています。

令和5年が皆様にとって、良い年になりますよう、又日々楽しく過ごされますよう祈念申し上げます。

人の動き

入社

初めまして。よろしくお願いします。

11/14 石庭 誠さん
(RMC業務課)

11/21 吉田 理恵さん
(福島営業所)

定年退職

お疲れさまでした。

11/30 田中 正行さん
(大阪営業所)

入社

引き続き、よろしくお願いします。

12/1 田中 正行さん
(大阪営業所：大買台興産)



一 訃 報 一

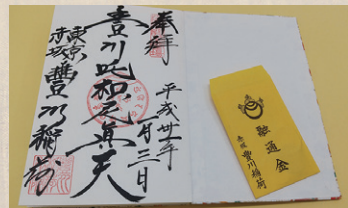
千代田あゆむ会 赤津康夫様(享年82歳)が、令和4年9月にご逝去されました。ここに謹んで弔意を表しお知らせいたしますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

編 集 後 記

今回は、東京都港区赤坂の豊川稲荷東京別院をご紹介します。神社ではなく、とよかわだからたちあままことん豊川吒枳尼真天が祀られ、曹洞宗の寺院です。正式名称は「宗教法人 とよがわかくたえおごせじ豊川閣妙嚴寺」です。お寺なので入口には鳥居はないですが、中にはたくさんのお稲荷さんが祀られ、鳥居もあります。家内安全・商売繁盛のご利益があります。

境内には、金運アップの「融通稲荷」があり、お供え物を乗せる台には、10円が入った「融通金」(写真の右側黄色い袋)が置かれており、自由に持って帰ることができます。願いが叶った時や1年後などにお気持ちを付けて返納すると運氣が上がるとされています。常にお財布の中へ入れておけば、お金に困ることがなく、開運招福が叶うとされています。私も必ず1年後にお礼を忘れずに行きたいと思います。

墨書きは、筆使いがすばらしく勢いがある文字で書かれてカッコ良いと思いました。なお、可愛い種類の御朱印帳がたくさんありますので、興味がある方は是非行ってみてください。



社 内 報

No.446 (令和5年1月号)

所在地 〒113-8681 東京都文京区湯島1-7-12 株式会社千代田テクノル

電 話 03-3816-5241 FAX 03-5803-4870

発行責任者 山口 哲郎 / 編集責任者 山口 哲郎 / 編集担当 鈴木 浩子